

■ 平成27年7月21日 厚生委員会県内調査

1 コミュニティワーク コツから（奈良市古市町）

【調査目的】 コツからの概要について

【調査概要】

<説明の概要>

- こぶしの会の理念
 - ① 障害のある人たちが主人公という立場
 - ② 共同（仲間、家族、職員、市民、行政）のもとに関わる全ての人が幸せに
 - ③ 建物作りではなく地域づくり
 - ④ 明るい未来を目指す創造性
- 理念を実現するための3つの柱は「事業」「実践」「運動」であり、どれも欠けてはいけない
- 現在の定員は36名だが、利用者数は46名。平均年齢は33歳。
- 一日のスケジュールは「仕事」「活動」「半分仕事で半分活動」など、障害の状況に合わせてさまざまな作業をしているのが特徴。
- コツからの「働く」の定義
 - ① 自分を表現する（自分の好きなこと、得意なこと、できること、楽しいこと）
 - ② 傍を楽にする（儲からなくても「はたをらくにする」「ひとによろこばれる」こと）
 - ③ それらを通じて人や社会とつながる
- 働く場をつくることは大事だが、これからは生活を支えることが法人としての課題となってくる。

【質疑応答】

Q：設立当初はグループホームで対応されたということだが、今後どのように施策をしていくのか。

A：今度グループホームを建てる場合は5000～7000万円かかり、どのようにするかは本当に難しい問題。もうひとつは資産の問題で、地域の反対がある。その方が大変で、育成会も頑張っておられる。地域と何かやれないか考えているところ。

Q：新しい方は、養護学校から紹介されて来られるのか。

A：養護学校から来られる方が多い。毎年たくさん入所希望していただくが手一杯のため、せめて地域の方には来ていただけるように少しずつ枠を広げている。

Q：行政に対して要望はあるか。

A：社会福祉法人やNPO法人もあるので、地域のネットワークの場づくりをしていただければありがたい。



2 あすなら苑（大和郡山市宮堂町）

【調査目的】 地域包括ケアの取り組み等について

【調査概要】

<説明の概要>

● あすなら苑（協同福祉会）における取り組み

「地域包括ケアシステム」の要としての「あすなら安心システム」を進めている。

<あすなら安心システムとは>

「地域包括ケアシステム」の中で、地域の高齢者を支える仕組みであり、

①安心ケアシステム…介護保険制度事業（要介護者を対象とした）ケアシステム

②安心支援システム…制度外事業（元気な高齢者を対象とした）支援システム

が含まれる。要は、地域の人たちと丸ごと関わる仕組みである。

● 安心ケアシステムの実施例

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

②1日3回以上のテレビ電話安否確認

③退院調整の訪問看護

● 安心ケアシステムの実施例

①あすならサロン ②つながり連絡員制度 ③買い物バス

【質疑応答】

Q：2025年問題に関し、介護をする人を確保できるのか。

A：苦慮しているところ。高齢者であっても元気な人がおられるので、そのような人たちに関わってもらったり、若い人は介護関係の学校だけでは足りないので、昨年から全学部全学科から募集している。

Q：地域包括支援センターがここにあり、相談こられる方を紹介していくことになると思うが、あすなら苑へどれくらいの人が入るのか。

A：要支援の方は、約半数入っている。

Q：おむつはずしのために、どのような努力をされたのか。

A：まずはおむつをやめて、介護者が手伝ってトイレに座っていただく。それを繰り返していくうちに足の筋肉を取り戻していただき、家に帰ったときにポータブルトイレに座る練習をしていただく。成功するまで徹底的に理学療法士が筋力トレーニングを行い、成功した人だけを家に帰している。また、全職員にリハビリの講習を行っている。

